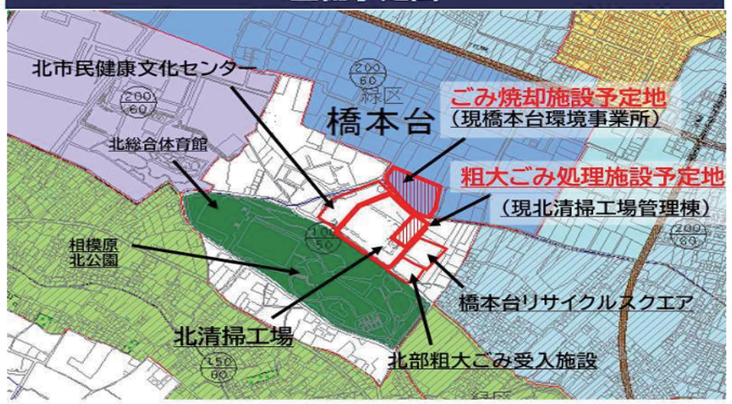
⑧ 北清掃工場建替整備



【用途地域】　整備予定地

もっともっと！

令和18年度まで（全稼働期間45年）稼働する計画であるが、更なる延命化工事は稼働期間が長くなりリスクが大きくなるため、令和18年度までに建替整備を進めます。
周辺施設を含む横断的な検討組織を設置するとともに、有識者等から構成する検討委員会等を設置し、令和19年度中の新工場竣工を目指します。

⑨ 新たなアイススケート場の整備

銀河アリーナが令和8年度末に廃止されることに伴い、新たなアイススケート場の整備を進めています。

相模原麻溝公園内の整備地の検討

グラウンド以外で整備できる場所について（施設の形状、位置、広さについて）

候補地として、公園内の広場や駐車場などに整備が可能か検討した結果、「第4駐車場」を候補地として提案したい。



想定のスケジュール等（事業手法をＰＦＩとした場合）

項　目	R8.1～3	R8.4～6	R8.7～9	R8.10～12	R9.1～3	R9.4～6	R9.7～9	R9.10～12	R10.1～3
庁議（意思決定）	新たなアイススケート場の整備位置の決定（基本方針）			スケジュール、文化継承に係る対応の方向性、事業規模等	新たなアイススケート場の想定事業内容の決定（基本計画）		事業手法の決定		事業者の決定
市議会　議案上程		基本方針部会説明			基本計画部会説明		R9.9月議会債務負担行為（整備事業費）		整備事業者承認
アドバイザリー 業務委託			契約時期						～R10.10
基本計画の検討						策定			
事業手法等の検討									
大規模事業評価（内部評価）									
募集要項等の検討									
公募選定									
候補事業者の決定									整備事業者候補決定
銀河アリーナ								R9.3月末廃止	

※　昨年度実施した調査の事業者ヒアリングでは契約から工事完了まで最大3．5年

【今後の課題】
銀河アリーナ廃止後、新たなアイススケート場を整備するまでの間のアイススケート文化の継承をどのように行っていくか。R8夏季を目途に想定スケジュールを固め、対応の方向性を示す。

⑩ 博物館常設展示室リニューアル

リニューアルの進め方について

・リニューアルの目標、目的及び方針を定める「（仮）博物館常設展示室リニューアル構想」を新たに策定する。策定にあたっては有識者等で構成する「相模原市立博物館協議会」に意見を求める。
・具体的な展示内容及び手法については、上記構想をベースにした基本設計、実施設計により決定する。

「（仮）博物館常設展示室リニューアル構想」の策定（博物館協議会から意見聴取）　基本理念、目標、方針など
↓
基本設計 実施設計（業務委託）　市の現状を反映した展示内容 最新のデジタル技術を活用した展示手法など
↓
展示製作（業務委託）

プラネタリウムのリニューアルにより、市内外からの注目度が向上し、今後、来館者の増加が見込まれる機会を捉え、魅力ある総合博物館としての役割を充実させるとともに、市の魅力を発信する場として、常設展示室のリニューアルをします。

リニューアルスケジュール案

		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
常設展示室	特定天井改修	設計	改修工事		
	展示室改修	基本設計	実施設計 展示物撤去	改修工事（LED化含む）	リニューアルオープン

⑪ 旧青葉小学校跡地施設利活用計画

基本方針等

【基本理念】
光が丘ランドマーク
～ 子ども達がつくり　活躍し　ずっと続いていく
共にささえあい みんなが笑顔になれる　陽だまりのような場所 ～

【基本方針】
方針１　地域とともに子ども・若者を育む拠点として活用します
方針２　地域の魅力やゆるやかな繋がりを大切にします
方針３　災害時の拠点として活用します
方針４　旧青葉小学校のストックを大切にします
方針５　時代に即したやさしい施設にリニューアルします

【導入機能の概要】
① 療育センター陽光園及び障害者更生相談所の機能
② 保育園の機能
③ 市民活動機能
④ 災害機能

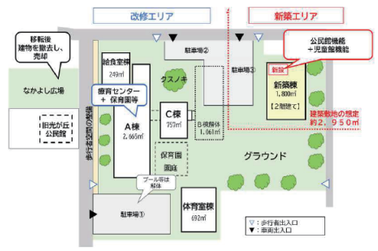
【敷地利用計画】
【利活用エリア】
再編・再整備を行う公共施設の規模や機能等を踏まえ、既存の校舎Ｂ棟及びプール等は解体して、旧青葉小学校用地を「改修エリア」と「新築エリア」に分けて、施設整備を行います。

【売却エリア】
再編後に発生する未利用資産（光が丘公民館、なかよし広場、療育センター陽光園、陽光台保育園の敷地）は、旧青葉小学校跡地の新施設整備に多額の費用がかかることが見込まれることから、公共施設の保全・利活用基本指針に則り売却により事業の財源として活用します。

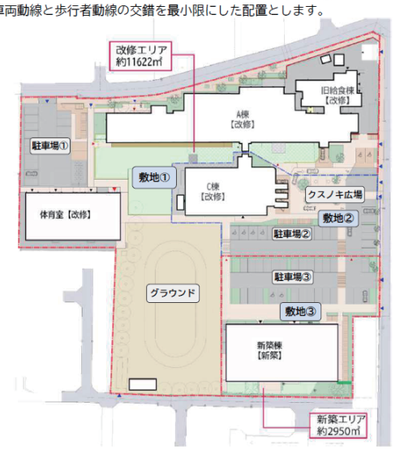
■ 旧青葉小学校の概略図



■ 土地利用計画（案）



【全体配置計画】
◆利用用途を踏まえ、開放・閉鎖箇所を設け、セキュリティ等に配慮します。
◆改修棟は、合理的な敷地設定を行うため、グラウンドを含めた範囲とします。
◆新築棟は、施設の独立性、動線計画等を踏まえ、校庭の東南角に配置します。
◆駐車場は、用途ごとに３か所設置し、利用者等に配慮した配置とします。
◆車両動線と歩行者動線の交錯を最小限にした配置とします。



【全体スケジュール】
令和７年度に基本計画を策定し、陽光園・保育所等は令和１１年度迄に、複合施設は１２年度迄に設計・工事を行い、その後供用開始とします。

対象＼年度	Ｒ７年度	Ｒ８年度	Ｒ９年度	Ｒ１０年度	Ｒ１１年度	Ｒ１２年度
改修エリア 解体工事（校舎Ｂ棟・プール等解体工事）	基本計画策定	解体実施設計	解体工事			
改修エリア 建築工事		改修基本設計・実施設計		改修工事	OPEN予定※	
新築エリア 建築工事		基本設計・実施設計		新築工事	OPEN予定※	

※新施設の供用開始に伴い発生する未利用資産は、市の「公共施設の保全・利活用基本指針」に基づいて解体・売却します。

⑫ 衛生研究所再整備事業

SDGs 持続可能な都市 相模原へ

【整備用地】

整備用地：旧相模原総合高校跡地の一部
所在地：相模原市緑区大島１226
敷地面積：跡地全体約4.6haのうち赤枠部の中で必要面積
用地地域：市街化調整区域（建ぺい率50%、容積率80%）



【設計・工事等の想定スケジュール】

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
衛生研究所再整備事業	基本構想策定	基本計画検討・策定	基本設計・実施設計・建設工事・移転					供用開始	